Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

鳥取TAC通信

第１９５号　　令和８年８月発行

～ 自己拡散型製剤（除草剤）について ～

今月号では、水稲用除草剤の散布における省力化技術の一つである「自己拡散型製剤」についてご紹介します。

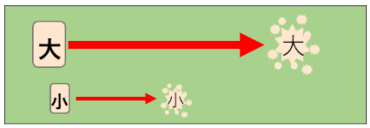
○自己拡散型製剤とは

水面を浮遊して拡散する製剤です。拡散性が非常に高く、1ha 規模の圃場でも水田の中を歩いて散布する必要がありません。

	豆つぶ®	FG	楽粒®
			
販売メーカー	クミアイ化学	協友アグリ	北興化学
粒形			
大きさ	3~5mm	約1.5mm	約1.5mm

粒の大きさが不揃いであることにより、均一な拡散を可能にしています。

（小さな粒は比較的早く崩壊し、大きな粒はより遠くで崩壊）



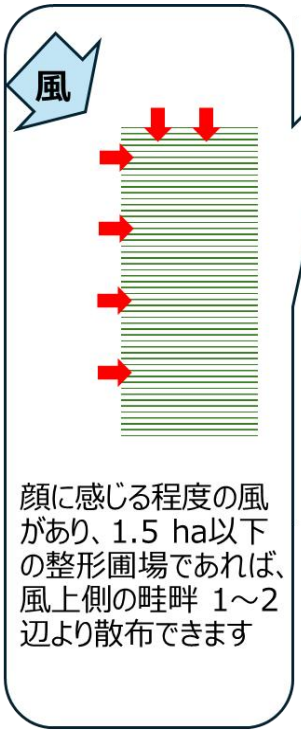
○導入メリット

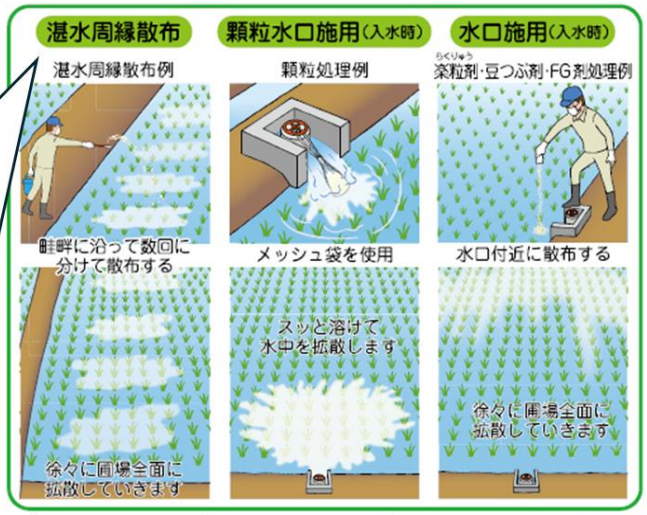
メリット①軽量化：10a 当たり 200～400ｇ（1 キロ粒剤の 20～40%の重さ）。

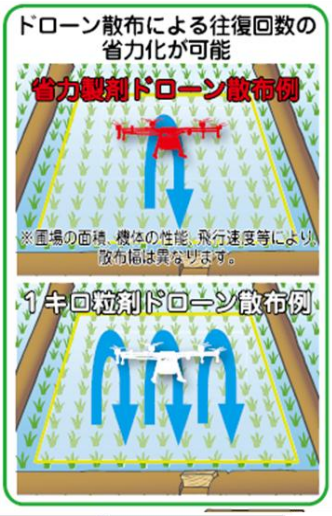
メリット②省力化：圃場に入らず畦畔からの散布が可能です。

製剤によってはドローン等の無人航空機でも散布できます。









施用内容	① 省力製剤	② 1キロ粒剤	③ 省力製剤	④ 1キロ粒剤
散布方法	ドローン（2往復）	ドローン（3往復）	ハンドスコップ（風上2辺散布）	背負動力散布機（均一散布）
散布面積	39a、45a	29a、31a	251a	143a
散布時間/10a※	約２７秒	約４６秒	約１８秒	約２８８秒
薬剤使用量/10a	400g	1kg	400g	1kg

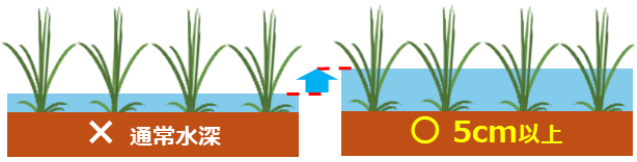
※散布時間のみ、付帯作業時間は含みません。<①②は令和元年度全国農業システム化研究会試験、③④は協友アグリ社内試験より引用>

ドローン散布では１キロ粒剤と比較して**散布時間を 40%程度短縮**でき、バッテリーの節約にもなります。

ハンドスコップを用いて圃場の風上側 2 辺から散布する場合は、1 キロ粒剤を背負動力散布機で散布する場合と比較して**散布時間を 90%以上短縮**できます。

○自己拡散型製剤の上手な使い方

- **散布時の水深は 5cm 上とし、田面の露出は避けましょう。**
- 代掻きは均平にし、畦畔からの漏水がないか注意しましょう。
- **藻類や浮き草が多発生している場合は、これらを防除してから散布してください。**





- **風がある場合は、風下からの散布はしないでください。**
- 拡散性の高さがメリットですが、水口施用を除いて 1 点に全量を落とさず、**複数箇所に分けて施用**してください。
- 散布後 7 日間は落水せず、3～4 日は湛水状態を保ちましょう。

（出所：中四国広域営農資材事業所 広域事業企画課 作成資料）

～ ザルビオの活用方法をご紹介（収穫適期の検討）～

ザルビオでは、AI が衛星画像を解析し、圃場の状況を可視化した「生育マップ」や、品種・移植日などの情報から予測された「生育ステージ」を確認できます。

今月号では、収穫適期の検討に役立てる方法をご紹介します。

○収穫適期の確認

STEP1　まずは生育ステージを確認してください。

実際のザルビオの画面

	27 木 8月	28 金 8月	29 土 8月	30 日 8月	31 月 8月	01 火 9月	02 水 9月	03 木 9月	04 金 9月	05 土 9月
2026年の作付情報 稲	稲 ZR 1	2026年5月3日 作付日		550 kg/10a 予想収量						
天気 気温 (°C)										
タスクとメモ										
生育ステージ	87	87	87	87	87	89	89	89	89	92

・生育ステージ 87＝糊熟期の後半

・生育ステージ 89＝成熟期（収穫適期）

・生育ステージ 92＝過熟

※生育ステージ 92 以降は刈遅れの可能性があります。

地域の栽培暦も参考に収穫時期を決定し、ザルビオで事前に日付を確認しましょう。

○収穫適期の検討

STEP2　刈取りの順番を決定しましょう。

・全圃場の植生マップ（相対表示）を確認してください。

・色が淡い（オレンジ、黄色）圃場ほど成熟が進んでいます。マップを見ながら刈取りの順番を検討してください。



刈取りの順番

早 ⇐ ⇒ 遅

○作期終了の登録

収穫後は、「作期終了」の登録をしてください。

（作期終了登録後に、来期の登録ができるようになります）

～令和８年度ＴＡＣアグリビジネススクールについて ～

担い手の課題解決につなげるための営農（技術、地域振興および経営等）に関する知識取得および事例等の共有を図るため、今年度も以下の内容にて開催いたします。

すべてにご参加いただかなくても問題ありませんので、「この回の話を聞いてみたい」と思われる内容がありましたら、お気軽にご参加ください。（受講費用：無料）

回	日程	時間	テーマ
4	9月 2日(水)	10：00 ～ 15：00	販売強化の取り組み、会計基礎
5	10月 7日(水)	10：00 ～ 15：00	会計、税務研修①
6	11月 4日(水)	10：00 ～ 15：00	会計、税務研修②
7	12月 2日(水)	10：00 ～ 15：00	会計、税務研修③
8	1月 6日(水)	13：00 ～ 15：00	農業現場における労務管理
9	2月 3日(水)	13：00 ～ 15：00	生産資材、技術情報②
10	3月 3日(水)	13：00 ～ 15：00	農政情報・総括と次年度の取り組み方針について

※内容は変更になる場合があります。
※カリキュラムによっては開始・終了時間が異なります。
※開催場所および各回の詳細内容、参加の申込につきましてはJA全農とっとりTAC推進課までお問い合わせください。

～ 今月のグリーンレポートはこちらから確認できます ～



QR コード

①「**全農**」で検索
②ホームページの「**ライブラリ**」をクリック
③「**全農の出版物**」をクリック
④グリーンレポート「**最新号**」をクリック

【問合せ先】JA全農とっとり
資材部 TAC推進課
TEL:0857-32-8341 FAX:0857-28-6750

TAC（タック）は「地域農業の担い手に出向くJA担当者」の愛称です！